

## ICT 推進・情報セキュリティ整備計画

### 1. 計画の目的

本計画は、教育・研究の質的向上と、多様な学修スタイル（ハイブリッド型学修）への柔軟な対応を目的とする。既存の ICT インフラの実績を基盤としつつ、2026 年度に予定されているシステム統合を見据え、学修データの利活用と強固な情報セキュリティ体制を構築する。

### 2. ICT 環境の整備：学修基盤の高度化

既存の Wi-Fi 環境や講義自動録画・配信の実績を活かし、さらなる利便性と教育効果の向上を図る。

項目	具体的な内容	実施時期	担当
次世代ネットワーク基盤の最適化	全キャンパス展開済みの Wi-Fi 環境を維持しつつ、未整備エリアへの拡張および基幹ネットワークの帯域拡張を行い、安定した通信環境を担保する。	2026 年度～	ICT 運営委員会 総務部総務課
ハイブリッド型学修と臨床実習支援	Zoom と LMS の API 連携による録画データの自動格納フローを確立させる。BYOD 対応の電源設備を継続拡充し、臨床実習のデジタルコンテンツも安定して視聴・受講できる環境を整備する。	2026 年度	教学部 ICT 運営委員会
学修成果の可視化と教育改善への活用	2026 年度のシステム統合（学生ポータルサイト・LMS・教務）完了後、学修ログや成績情報を可視化するダッシュボードを段階的に実装し、分析結果を授業改善や学修支援に直結させる。	2026 年度 後半～	教育企画部 教学部

### 3. 教職員を対象とした技術支援・教育体制の整備

ICT ツールを有効活用するための人的支援と、ナレッジの共有体制を強化する。

項目	具体的な内容	実施時期	担当
ICT 活用支援機能の強化（ヘルプデスク）	生成 AI を活用した教材作成や授業運営の補助体制を整備。高度な専門性を要するインストラクショナル・デザイン等は、外部リソース（IT サポーター派遣等）の活用と内部職員のリスクリングを組み合わせ対応する。	2026 年度～	教育企画部 総務部総務課
定常的な FD・SD 研修の実施	生成 AI の教育利用、著作権処理、LMS 活用術等に関するワークショップを定期開催。特に「学修成果の可視化による教育改善」に焦点当てた実践的研修を強化する。	2026 年度～	教育企画部 FD・SD 委員会

項目	具体的な内容	実施時期	担当
ナレッジシェアと表彰制度の運用	学内ポータルで ICT や生成 AI の教育活用事例を共有。優れた取組に対しては、新設する「教育功績賞」等を通じて、具体的なインセンティブを付与する。	2027 年度～	教育企画部 FD・SD 委員会

#### 4. 情報セキュリティへの対応に係る大学全体の方針

サイバー攻撃や情報漏えいに備え、学内の連絡や対応の流れを明確にし、必要に応じて外部機関とも連携しながら、速やかに対応できる体制を整備する。利便性と安全性の両立を目指し、技術的対策とガバナンスを明示する。

項目	具体的な内容	実施時期	担当
認証基盤の強化と ID 管理	LMS および基幹システムへのアクセスに対し、多要素認証 (MFA) やシングルサインオン (SSO) 等の技術的対策を導入し、不正アクセスを防止する。	2026 年度～	総務部総務課
セキュリティポリシーの遵守と教育	文科省の指針に準拠した規程の更新。全教職員・学生を対象とした年 1 回以上の e ラーニング受講を義務化し、リテラシーの維持向上を図る。	毎年実施	ICT 運営委員会
インシデント発生時の緊急対応体制	学内緊急対応チーム (CSIRT) を組織化。SINET の活用や外部専門機関との窓口を明確化し、サイバー攻撃や情報漏洩発生時に迅速な初動対応が可能な体制を整備する。	2026 年度	ICT 運営委員会 総務部総務課

#### 5. 今後の課題と数値目標

- **数値目標:** 全エリア Wi-Fi カバー率 100%、セキュリティ講習受講率 100%、LMS 活用率、生成 AI 活用率の向上。
- **予算規模:** システム統合費用、生成 AI 有料版ライセンス費用、外部サポート人材活用費用、およびハードウェア更新費用の概算算出が必要。

以上